



nittan 北海道新幹線 × nittan地域戦略会議

【nittan 代表事務局】 苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課 〒053-8722 北海道苫小牧市旭町4丁目5番6号

Toyoura × Toyako × Sobetsu × Date × Muroran × Noboribetsu ×
Shiraoi × Tomakomai × Abira × Atsuma × Mukawa ×
Biratori × Hidaka × Niikappu × Shinhidaka × Urakawa × Samani × Erimo



Hokkaido
Iburi & Hidaka

nittan

北海道の胆振・日高地方
略して日胆（n i t t a n）の
エリアガイド

北海道の胆振・日高地方
略して日胆（n i t t a n）エリアは
4つの市と14の町があります

日胆は自然・食・温泉・アイヌ文化など
北海道の醍醐味をぎゅっとまとめて
味わうことができる地域です



Do you know? nittan

“日胆(にったん)”という地域をご存知ですか?北海道の太平洋側にある胆振(いぶり)地方と日高(ひだか)地方の2つを併せて“日胆(にったん)”と呼びます。北海道新幹線開業をきっかけに、この2つの地域が連携し、北海道を盛り上げていこうと、2013年に「北海道新幹線 x nittan 地域戦略会議」を立ち上げ、日胆の魅力を伝えるため様々な活動をしています。



1 エリア

日胆エリアには全部で18の自治体があります。ここでは、北海道内でも比較的温暖な気候で、豊かな海・山の幸に恵まれたエリアです。札幌や函館といった道内主要観光地とも特急列車で結ばれており、新千歳空港にも隣接しているため、アクセスも良好。北海道旅行の際にはぜひ遊びにいらしてください。

- 1. 豊浦町 2. 洞爺湖町 3. 壮瞥町 4. 伊達市 5. 室蘭市 6. 登別市 7. 白老町 8. 苫小牧市 9. 安平町 10. 厚真町 11. むかわ町 12. 平取町 13. 日高町 14. 新冠町 15. 新ひだか町 16. 浦河町 17. 様似町 18. えりも町

2 温泉

有珠山や昭和新山など、多くの火山を有する日胆エリアは温泉の宝庫。洞爺湖温泉や登別温泉などの有名温泉街はもちろん、各地に数多くの温泉があり、バラエティ豊かな泉質を楽しむことができます。



登別温泉

国内の温泉ランキングでも毎年上位に入る登別温泉。温泉の川がそのまま足湯になった「大湯沼川天然足湯」も人気のスポット。

- 主な温泉地**
洞爺湖温泉(洞爺湖町)、北湯沢温泉郷(伊達市大滝区)、壮瞥温泉(壮瞥町)、蟠溪温泉(壮瞥町)、登別温泉(登別市)、カルルス温泉(登別市)、虎杖浜温泉(白老町)



Onsen

洞爺湖温泉

有珠山の噴火によって湧出した洞爺湖温泉。国内3番目の大きさを誇るカルデラ湖である洞爺湖を中心に温泉街が形成されている。湖に浮かぶ中島を巡る「洞爺湖湖上遊覧」が優雅なひと時を過ごすのもオススメ。

4 ジオパーク

日胆には2つのユネスコ世界ジオパークがあります。ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味します。大地と自然と人々の暮らしの関わりを学び、楽しむ空間として、それぞれに特徴のある体験プログラムが用意されています。

洞爺湖有珠山ジオパーク



日本で初めての世界ジオパークとして登録。火山活動による大地の変動で生まれた昭和新山・有珠山や洞爺湖を中心に、ビジターセンター、フットパス(散策路)、解説看板などが整備されている。ガイドツアーなど様々な体験メニューも人気。

- 洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会**
北海道虻田郡洞爺湖町栄町58(洞爺湖町役場ジオパーク推進課内)
TEL: 0142-74-3015

アポイ岳ジオパーク



地下深くから突き出たかんらん岩が形成した「アポイ岳」を中心として成り立っている。親子岩やエンルム岬など、海岸線に立ち並ぶ奇岩類が織り成す風光明媚な景観が特徴。アポイ岳の麓にあるビジターセンターでは、アポイ岳の形成過程や高山植物について学ぶことができる。

- 様似町アポイ岳ジオパーク推進協議会**
北海道様似郡様似町大通1-21(様似町役場商工観光課内)
TEL: 0146-36-2120

2020.4.24 民族共生象徴空間 誕生
アイヌ文化復興等に関するナショナルセンターとして自然豊かな白老町ポロト湖畔に誕生する「民族共生象徴空間」は、アイヌの歴史や文化に関する幅広い理解の促進を図り、未来へ向けてアイヌ文化の継承と新たなアイヌ文化の創造発展を推進。主要施設として「国立アイヌ民族博物館」や「国立民族共生公園」が整備されます。



- アイヌ民族博物館**
北海道白老郡白老町若草町2-3-4
TEL: 0144-82-3914
開館時間: 8:45 ~ 17:00
休館: 12/29 ~ 1/5

Ainu culture



3 アイヌ文化

北海道の先住民、アイヌ。日胆にはアイヌの歴史や文化への理解を深めることができる施設が複数あります。2020年には、白老町ポロト湖畔に「国立アイヌ民族博物館・国立民族共生公園」が誕生します。ぜひアイヌ文化を体験し、日胆へ足を運んでみてください。



- 平取町立二風谷アイヌ文化博物館**
北海道沙流郡平取町二風谷55
TEL: 01457-2-2892
開館時間: 9:00 ~ 16:30
休館: 12/16 ~ 1/15の1ヶ月間
※冬期間(11/16 ~ 4/15)は毎週月曜休館



- ①白老牛**
②平取牛
③あつまじんぎスカン
- 【肉】**
①2008年の洞爺湖サミットや2015年のイタリア・ミラノ国際博覧会で振舞われた北海道を代表するブランド牛。②平取町の凍てつく寒さ乗り越えて育つため肉の旨みが凝縮され味が濃いのが特徴。③秘伝のタレにじっくりと漬けているため独特のにおいが気にならない。



- ①カレーラーメン**
②間魔やきそば
③浦河かつめし
- 【ご当地】**
①北海道における発祥地とされる苫小牧市や、近年PRに力を入れている室蘭市を中心に広く提供されている。②登別地獄谷から着想を得たピリ辛グルメ。麺は北海道産小麦を使う・ゴマ風味のピリ辛ダレを使う・登別または近郊の食材を使うという3つの掟がある。③浦河のソウルフード。サクサクに揚げたカツに天井風の甘いタレをかけて食べる。

6 自然・動物

四季の明瞭さが日本の素晴らしさの一つですが、日胆もまた、四季折々の風景や動物たちの生命の営みに触れることができます。季節によって異なる大自然の魅力を体感してみてください。



- 春**
新ひだか町静内の二十間道路は北海道を代表する桜名所。ゴールデンウィークには咲き誇る桜を一目見ようと多くの人が日高を訪れる。また、春は仔馬の出産時期でもあるため、新冠町のサラブレッド銀座をはじめ、日高管内各所で新緑の中に寄り添う馬の親子の姿を見ることが出来る。



- 夏**
5月から8月にかけて室蘭周辺の噴火湾ではイルカ・クジラウォッチングが楽しめる。また、門別競馬場では4月中旬から11月上旬頃までの開催期間中全てのレースをナイターで行っている。大海原を生き生きと泳ぐイルカやクジラ達の姿や、夜風を切っ走るサラブレッドの姿から、爽やかな夏の北海道を体感できること間違いなし。

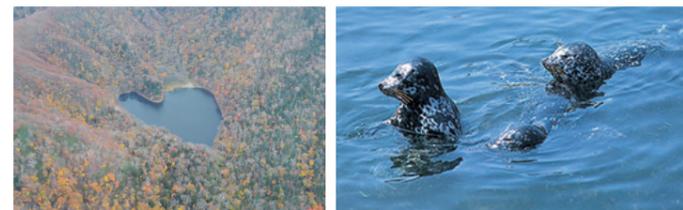
5 食 Gourmet

日胆の魅力をグルメ抜きに語ることはできません。季節ごとに変わる種類豊富な海・山・畑の幸が自慢です。北海道ならどこへいっても似たようなものが食べられるでしょ?とお思いのあなた。いえいえ、日胆でしか味わえない食材が満載です。日胆ならではの当地グルメもぜひ味わってみてください。

- ①伊達野菜**
②壮瞥の果物
③ハスカップ
④夏イチゴ
- 【青果】**
①北の湘南・伊達市で採れる野菜は、栄養価の高さや品種の多彩さが特徴。②火山の麓・壮瞥町では良質な土壌を生かして古くから果物栽培が盛ん。観果樹園が数多くある。③不老長寿の実として注目されている。厚真町は作付面積日本一を誇る。④冷涼な気候を生かし、浦河町と様似町では近年夏イチゴの生産に力を入れている。また、豊浦町では、収穫シーズンの5月になると国道37号沿いに直売所が軒を連ねる風景が風物詩となっている。

- ①春うに丼**
②マツカフ
③噴火湾産ホタテ貝
④苫小牧産ほっき貝
⑤鵜川ししゃも
- 【海産物】**
①日高では春がウニ漁の最盛期。日高昆布を食べて育つため濃厚で甘みが強い。②一度は絶滅した幻の鱈。日胆エリア全域で水揚げされる。③プランクトンが豊富な噴火湾で水揚げされるホタテ貝は肉厚で身が締まった貝柱が特徴。④水揚げ漁日本一の苫小牧市で獲れるほっき貝は旨み成分のアミノ酸やミネラル成分が豊富で健康食としても注目されている。⑤全国的にも人気の高いブランドししゃも。北海道の特産種である本物のししゃもが獲れるのは北海道太平洋沿岸部だけ。

- ①チーズ(南夢民舎・チーズ工房角谷)**
②のぼりべつとろ〜りプリン(のぼりべつ酪農館)
③飲むヨーグルト(樹牧家)
- 【乳製品】**
①ナチュラルチーズ専門工場発祥地・安平町ならではの品質カマンベールチーズ。②道内トップクラスの乳質を誇る生乳の産地でもある登別・室蘭。その生乳をたっぷり使った逸品。③厳しい自社基準をクリアした生乳だけをを使用して作られたプリンや飲むヨーグルト、チーズなどの乳製品が人気。



- 秋**
ハートレイクとして知られるえりも町の豊似湖。秋には周辺の森が紅葉へと姿を変え、湖が鮮やかに彩られる。またゼニガタアザラシの生息地としても有名な襟裳岬では、岬の突端にある風の館でアザラシ観察を楽しむことができる。



- 冬**
オオワシ・オジロワシ観察という知識を思い浮かべる人も多いかもしれないが、浦河町にも越冬のため毎年多くの鳥たちが飛来している。飛来が本格化する11月から1月にかけては観察ツアーも開催されている。

詳細情報を nittan Web サイトでチェック!
<http://nittanweb.jp>